

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	35500
事業名	子どもの文化芸術体験事業費					
評価担当課	所 属	市)文化部 文化振興課			電話番号	011-211-2261
施策名	誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	感性豊かな幼少期から多彩な文化芸術に触れることにより創造性を育む取組を進めるため、「おとどけアート事業」(平成20年度～)、「ハロー！ミュージアム事業」(平成20年度～)、「子どものミュージカル体験事業」(昭和54年度～)、「Kitaraファーストコンサート事業」(平成16年度～)、「ニッセイ名作シリーズ鑑賞事業」(令和5年度～)を実施している。
事業内容	事業内容 (何を実施し)	子どもたちにさまざまな文化芸術の鑑賞・体験機会を提供する事業を実施する。 ①おとどけアート事業:小学校に芸術家を一定期間派遣し、子ども達がアーティストと共に創作活動に関わり、多様な価値観に触れる機会を提供 (参加実績:3校、児童1,502人) ②ハロー！ミュージアム事業:小学5年生を対象に、札幌芸術の森美術館等で、美術鑑賞マナーの学習機会や美術鑑賞・創作活動の体験機会を提供 (参加実績:199校、児童13,949人) ③子どものミュージカル体験事業(こころの劇場):小学6年生を対象に、劇団四季「こころの劇場」のミュージカルの鑑賞機会を提供 (参加実績:198校、児童13,956人) ④Kitaraファースト・コンサート事業:連携中枢都市圏の小学6年生を対象に、Kitaraにおいて、コンサート鑑賞マナーの学習機会やプロオーケストラの鑑賞機会を提供 (参加実績:240校、児童15,554人) ⑤ニッセイ名作シリーズ鑑賞事業:連携中枢都市圏の小学4年生を対象に、「ニッセイ名作シリーズ」のトップレベルの舞台作品の鑑賞機会を提供 (参加実績:129校、児童8,721人)
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	子どもの豊かな感性や創造性を育み、文化芸術の未来を担う人材を育成する。
	他都市の状況	①アーティスト・イン・スクール事業として、全国で実施 ②全国にある多数の美術館において、教育普及事業として実施 ③「こころの劇場」として全国各地の自治体で実施 ④横浜市「心の教育ふれあいコンサート」 ⑤日生劇場のほか全国の劇場で実施
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	36,941 千円	うち特定財源	3,392 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和5年度予算額	54,000 千円	うち特定財源	15,314 千円	正規職員業務量	0.38 人工
令和5年度決算額	53,414 千円	うち特定財源	14,358 千円	正規職員業務量	0.38 人工
令和6年度予算額	53,000 千円	うち特定財源	10,987 千円	正規職員業務量	0.38 人工

指標	アウトプット 活動指標1	全校参加型事業における市立小学校の参加率平均				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		97%	98%	96.50%	98%	98%	98%
	↓						
	アウトカム 成果指標1	また文化芸術を鑑賞したいと回答した子どもの割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		91%	91%	90%	91%	91%	91%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	感染症の流行により欠席となる学校があり、目標値にはわずかに届いていないものの、おおむね達成できた。今後も早期の周知や希望調査方法の工夫等により、多くの学校が参加できる運用を目指していく。					
	アウトプット 活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム 成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
令和4年度実績		令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し 内容	④⑤は事業参加の連携中枢都市圏市町村から負担金徴収。④は公演数増により+2,000千円。⑤は開催日数見直しにより△2,936千円。その他端数調整により前年度予算比△1,000千円。
---------------	--

来年度以降の方向性	子どもが文化芸術の魅力に継続的に触れられる機会の充実を図るため、年度以降も継続して事業を実施する。
-----------	---